

2018年5・6月号

特集：2020東京オリンピックへ向けて加速するスポーツICT

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、スポーツに対する国民的な関心が高まっている中、スポーツ活用のためのICT技術の研究開発が盛んに行われている。以前から、映像やセンサー情報を活用して競技者のスキルを計測、可視化し、スポーツ強化やコーチング支援を行う取り組みや、センシングした情報を放送映像に活用することで、視聴者向けに新たな付加情報を提示する取り組みなどが行われてきた。近年の撮像技術、画像認識技術、センサー技術、情報提示技術の発展と、2020年へ向けた集中的な取り組みにより、様々なスポーツ種目において、現場で活用することが可能なスポーツ競技支援のためのシステムが導入されつつある。本特集では、我が国におけるスポーツ現場での実利用を目指したICT技術やシステムについて、最新の研究事例を紹介する。

No.	タイトル	執筆者
1	特集のポイント	OplusE編集部
2	3Dレーザーセンサーを用いた体操競技自動採点システム	富士通研究所
3	ラグビー映像解析による戦術分析の効率化	東芝
4	PanasonicにおけるスポーツICTの取り組み	パナソニック
5	情報科学によるスポーツパフォーマンス向上支援 (CREST採択課題)	NTTコミュニケーション科学基礎研究所
6	スポーツにおける位置情報活用	慶應義塾大学大学院
7	複合現実感技術を用いたスポーツトレーニング支援の試み (情報可視化による競技支援)	奈良先端科学技術大学院大学
8	多視点スライディング映像の実時間生成提示による同時フィードバック方式	筑波大
9	モーション・シンセサイザー～投球障害を引き起こす動作パターンを生成する～	松戸整形外科病院
10	バドミントンにおける映像情報からの戦術分析事例	日本ユニシス

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2018年5月25日

原稿締切：2018年4月27日

